札幌・北32東12に賃貸MS

モードアライブ　土地311㎡取得で計画

取得した共住の敷地

アパートやマンション企画、販売などのモード

アライブ（札幌市東区北25条東14丁目3の12、中上裕幸社長）は、札幌市東区にある共同住宅などの敷地311㎡を取得した。賃貸マンション新築を計画している。

札幌市東区北32条東12丁目420の23。1月に個人から購入した。用途地域は建ぺい率60%、容積率200%の第2種中高層住居専用地域となっている。

東15丁目中田通や札幌新道などの幹線道路が近く、地下鉄東豊線新道東駅まで約700㍍の距離にある。戸建てやマンションが多い住宅街で、イオンなどの商業施設や札幌東徳洲会病院といった医療施設がある。

北海道相互建設で着工

札幌・南郷通に分譲MS新築

日本グランデ

日本グランデ（札幌市中央区大通西5丁目1の1、平野雅博社長）は、分譲マンションの仮称グランファーレ南郷13丁目新築を主体、設備一括で北海道相互建設に依頼し、着工した。2027年3月ごろの完成を目指している。

RC造、4階、延べ1797平方㍍の規模。2LDK21戸、3LDK3戸の計24戸を配置する。エレベーターは1基を設置する。設計は自社で進めた。

建設地は、札幌市白石区南郷通12丁目北4の敷地818平方㍍。医院跡地で26年8月に取得した。地下鉄東西線南郷13丁目駅までは約100㍍の距離にあり、戸建てやマンションが多い住宅街。南郷通に面し、道道西野白石線などの幹線道路に近く、周辺には東光ストアやサツドラなどの商業施設が立地する。

真宗協会

ネクサスが落札

28年6月末完成目指す　帯広・はちす園改築

【帯広】社会福祉法人真宗協会（帯広市空港南町303の1、朝日順悟理事長）は18日、知的障害者支援施設帯広はちす園改築を主体、設備一括で一般競争入札し、ネクサスが1回目で落札した。2028年6月末の完成を目指す。

現施設は帯広市大正町東1線102の1にある。既存棟を取り壊し、W造、2階、延べ2374平方㍍規模の新施設に改築。4月3日に起工式を開き着工する。

計3社が応札。落札価格は非公表としている。

運輸取り扱いは67億4400万円

JR北26年2月収入・利用状況

JR北海道（本社・札幌）は、2026年2月の収入・利用状況を発表した。運輸取り扱い収入は、前年同月比で0・4%、3000万円増の67億4400万円だった。年度累計は4・7%、32億8600万円増の730億8200万円。インバウンド需要減少の影響が続く一方、新千歳空港駅への快速エアポート利用が伸びている。

北海道新幹線は1日当たりの利用者数が前年同月比6%減の3800人にとどまった。新千歳空港―札幌間の快速エアポート利用者数は4%増の6万9700人と好調だ。都市間主要3線区（東室蘭―苫小牧、南千歳―トマム、札幌―岩見沢）の特急列車利用者は10%減の1万7400人となった。

各路線ともにインバウンド需要が減少した。年同月は暴風雪など要天候によって航空利用者がJRに転移したための反動減となっている。

JR北海道ホテルズの収入は5・1%、510万円増加の10億660万円。中国の春節休暇期間となった2月後半から宿泊客が増加し、客室稼働率は93・7%で年から1・6㌽拡大した。

札幌駅総合開発の売上高は、アピアとステラプレイスの2店の合計で、前年同月比・7%、3300万円の47億3300万円。JR北海道プレッシュスクの駅構内店舗収は、9・8%、1億200万円減の11億2800万円だった。

トヨタなど満額相次ぐ

26年春闘　大手が集中回答

2026年春闘は18日、大手企業の集中回答日を迎えた。トヨタ自動車や日立製作所、三菱重工業など、労働組合からの要求に対して満額回答が相次いだ。トランプ米政権による高関税措置の発動や中東情勢の緊迫など不透明な事業環境の中でも、人材確保のために高水準の賃上げで応じる動きが広がる。

トヨタは賃上げと一時金の要求に満額で応じた。満額回答は6年連続。米関税による業績押し下げなど経営環境は厳しいものの、従業員の生産性向上の取り組みに応える。自動車大手では、集中回答日を待たずに、日産自動車やマツダなどが満額回答で応じた。

電機大手では、基本給を底上げするベースアップ（ベア）で月1万8000円の統一要求に対し、日立労使交渉の回答状況をボードに書き込む金属労協の関係者＝18日、東京都中央区のほか、三菱電機とNEC、富士通が満額回答で応じた。現行の交渉方式で過去最高となった。

重工大手では、三菱重工と川崎重工業、IHIがベア1万6000円で回答。防衛関連で受注が好調で、いずれも4年連続の満額回答となる。

一方、市況低迷に直面する鉄鋼大手3社の回答はいずれも組合要求を下回った。ベア1万5000円の要求に対し、日本製鉄は1万円、JFEスチールは7000円、神戸製鋼所は1万3000円にとどまった。

大手の回答後は、雇用の約7割を占める中小企業の労使交渉が本格化し、賃上げの勢いが広がるかが課題となる。中東での軍事衝突の長期化でエネルギー価格高騰を受けた企業収益の圧迫も今後の懸念材料となる。

人材確保へ高水準の動き

破産開始決定　負債は4億円

ユーエヌオーランバー

【岩見沢】ユーエヌオーランバー（深川市一已町1已4518、田中和範社長）は、2月6日に旭川地裁へ破産を申請し、4日に破産開始決定を受けた。破産管財人は山本直久弁護士（旭川市末広4条6丁目7の8、弁護士法人千鳥総合法律事務所）。東京商工リサーチ旭川支店によると負債額は4億6847万円。

1992年設立の製材業者で、前身の宇野木材工業を含む業歴は120年。2002年に宇野木材工業の倒産で改称し、営業基盤を承継した。

20年2月期から北欧材の直接輸入を始め、23年2月期の売上高は5億9144万円あったが、25年2月期は2億8832万円に減少。業績回復見込めず資金繰りが悪化に達し、25年10月1日に事業を停止し弁護士に後処理を一任。その後は再度資金ショートした。

札樽木材が破産申請準備

【小樽】札樽木材（樽市入船3丁目21の16、下館隆太郎社長）は、日までに事業を停止し破産申請準備に入った。高崎暢弁護士（札幌市中央区大通西10丁目4の33、たかさき・渡辺律事務所）に事後処理一任。東京商工リサー

千歳線の改修必要

関係機関と協議へ

JR北・鉄貨社長

国土交通省が検討する JR千歳線の輸送力強化を図る改修について、北海道の綿貫泰之社長は、必要との見解を示した。「複線化などの整備は、かなり高額で課題が多い」ともし、関係機関と協議を進めると話した。

千歳線沿線にはラピス（本社・東京）の半体製造工場が立地し、社や関連企業の社員と、インバウンドで観率の急増が見込まれる11日には鈴木直道知事が国にアクセス向上を要望。南千歳―新千歳空駅間の単線区間を複線化する案が現実的だ。

綿貫社長は「特急や駅間の単線区間を複線化する案が現実的だ。